

当たり前のこと

中学2年 畑 悠菜

今日本中だけでなく、世界中が新型コロナウイルスによって大変なことになっています。イベントやコンサートなどが中止になったり、学校まで休校になり、私たちの日常に大きく影響が出ています。何気なく当たり前に過ごしてきた日常がいかに幸せなことか痛感しました。

最初「休校です」と聞いた時は短いのかなと思っていたらこんなに長い休みが続いてびっくりしました。自粛中は、友達にも会えず1週間・2週間と経っていく度に寂しくなっていき、外出も出来ず、ずっと家に居て次第に飽きていきました。全然運動もしなくて運動不足になったり、家にこもりっぱなしでストレスが溜まった人も多いと思います。勉強も出来なくて遅れるんじゃないかと不安もありました。リモートで授業がありましたが、不具合があったり、普段の授業とは違って集中しづらかったりで慣れませんでした。今までとは違う新しい日常になりました。「自分1人くらいがいいだろう」と思って外に出たりするのではなく、1人1人がしっかりと危機感を持ち、意識を変えることが大切だと思いました。自分の行動にしっかりと責任を持って行動したいです。

お店が閉まっていたり、スーパーの商品が全然ない状態やマスクを買うために行列ができていたり、経験したことのないことばかりでした。私たちの生活は今までの生活とは大きく一変しました。今こういう時だからこそ私たちに出来る精一杯のことをして、我慢をして、感謝することにしました。日々コロナを終息させようと努力してくださっている医療従事者の方や毎日コロナに感染するんじゃないかと不安を抱きながらも仕事をしてくださっている方々。色々な方に感謝すること。いつ終息するかも分からず毎日が不安で仕方がないです。だからこそ今自分にできることをしようと思いました。なるべく外に出なかったり、マスクをする、消毒をする、三密を避ける、ソーシャルディスタンスを保つことを徹底していきたいと思います。

コロナはとても恐ろしいです。こういう時期だからこそ周りの人のことを考えて行動し、協力し合い、みんなで乗りこえたいです。いつ誰が感染するか分からず不安な日々が続いて、ネガティブになってしまいがちだけど前向きに考えて自由に外出できるまた楽しい日々が帰ってくることを待ち望んで感謝し、我慢をし、私たちにできることをしたいと思います。当たり前のように過ごしてきた日々がどれだけ幸せなことか分かりました。大切な人のことも考えて気をつけていきたいと思います。この自粛期間でたくさんのことを学びました。私ができる限りのことをしていきたいです。